

変える よりそう政治に

いたばし元気帳
2019年春号
日本共産党

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団
板橋区板橋 2-66-1 Tel.3579-2717



✉️ご意見・ご要望をお寄せください。

核廃絶・9条改憲NOの声を板橋から
核兵器禁止条約参加に背を向ける安倍首相。「世界に恥ずかしい」広島・長崎で学んだ板橋区の中学生の言葉です。板橋区長も改憲と同様に安倍首相に物言わぬ姿勢です。こんななまじい政治を変えましょう。

消費税10%増税中止を！
8%増税のとき、区内中小業者からは「自分の代限りで廃業」という言葉が溢れました。暮らしも経済も壊す消費税10%は中止させましょう！

日本共産党板橋区議会議員 いわい きりこ

いわい桐子



Facebook、Twitter、blogをやっています。

プロフィール

1973年生まれ、埼玉県草加市出身。順天高等学校卒業、城北信用組合、中央合唱団、たんぼ福祉訓練事業所に勤務。2007年板橋区議会議員初当選。区議3期。現在、都市建設委員長、高島平3丁目自治会副会長。趣味は、うたうこと、アウトドア、韓流ドラマ。家族は夫、息子（高1）、娘（中2）。

●主な活動地域●

高島平1～9丁目（2丁目除く）、新河岸1～3丁目、四葉1～2丁目、蓮根3丁目

いわい桐子事務所
高島平 7-20-17
電話 (6904) 0448

女性として、母として生活相談にとりくんだ12年間



「お風呂が壊れて水風呂に入っている」と二人の娘を育てる母親から相談。高校生と中学生の進学費用にも不安を抱えている母親は、トリプルワークの毎日。それでも収入は生活保護基準以下。いっしょに生活保護を申請し、働きながら福祉サービスを受けることに。

親の貧困が子どもの貧困に直結します。母親や女性の労働にたいする評価や対価が低す

ざる実態、進学費用や交通費、教材費の負担軽減を求めて区議会で質問してきました。さらに前に進めるためにがんばります。

認可保育園 19 か所増設

「保活」の言葉が社会問題になり、板橋区でも希望する保育園に入れない子どもが1,000人を超え、繰り返し待機児対策を求めてきました。この4年間で認可保育園の19か所増設などで、1,837人分の増へつないできました。さらなる充実を目指します。

高島平郵便局は存続を！

「郵便局がなくなったら困る!」「足が悪いのに三園まで行かれない」と不安の声が相次ぐ高島平郵便局の閉鎖問題。国会議員とも連携して日本郵便(株)へ要請。区議会でも、区として日本郵便へ働きかけるよう求めました。その結果、住民とともに働きかけて閉鎖を延期に。郵便局サービスが後退しないよう引き続きがんばります。



木の大量伐採に待った! —「高島平緑地」

「木がたくさん切られた!」住民からの問い合わせが。区議会で取り上げ、大量伐採の根拠や考え方を質してきました。50年近く育ててきた大切な緑地です。住民とともに考え、緑を保存しながら整備していくことを引き続き求めます。



都営新河岸団地の建て替えへの不安にこたえて懇談会

「懇談会」を繰り返し開催し、住民が何に不安を感じているのか、聞き取り、東京都へ働きかけてきました。さらに、新河岸地域に郵便局を残すために取り組みます。

街の声にこたえて実現



新高島平駅前公衆トイレ



高島平緑地にベンチ

- 西台駅前歩道の拡幅工事開始
- 新高島平駅前公衆トイレを洋式に
- 高島平緑地にベンチ設置
- 高島平駅前バス停にシルバーシート
- 高島平図書館のトイレに手すり設置
- 新高島平駅前歩道橋の修繕